

研究課題：AL amyloidosis に対して大量メルファラン併用自己末梢血幹細胞移植の後方視的解析

研究の概要：AL アミロイドーシスは予後不良な疾患ですが、MD 療法(メルファラン、デキサメサゾン)や、移植適応の方には大量メルファランを用いた自己末梢血幹細胞移植が有効と考えられています。他方、日本人のアミロイドーシス患者さんへの治療を考える上で本邦からの治療成績の解析が必要と考えられます。

今回私たちは当院における AL アミロイドーシスに対する自家移植の治療成績を把握し、今後の治療方針に役立てるべく後方指摘研究を行うことを計画しました。

対象：2006年4月1日から2017年3月31日までにALアミロイドーシスに対して行われた自家移植63例を対象としています。

研究の方法：診療録を元に、患者さんの検査値、治療成績、副作用を解析します。

倫理的配慮：個人情報保護は十分に配慮を行い解析します。個人名が特定されないよう患者さんの情報は匿名化され利用されます。上記対象に該当する患者さんで、本研究への登録をご希望されないかたは下記までご連絡ください。

日本赤十字医療センター 血液内科

研究責任医師：岡塚貴世志

電話番号：03-3400-1311(代表)